

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【広島県立呉三津田高等学校】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	全学年男女565名
3 展開の形式	(O) 教科で実施 教科名 (保健体育) () 教科以外で実施 ()
4 目標（ねらい）	オリンピックの価値やオリンピックの意義を学ぶ
5 取組内容	事前学習として、講師のプロフィールや関係資料を事前に各教室に掲示したり、各 SHR や体育の授業で積極的にアナウンスを行ったりした。 事後学習として、講演後に感想文を記入させ、学んだことを振り返らせた。
6 主な成果	事前学習の結果、個人的にインターネット等で調べたり、生徒同士で情報共有したりする生徒もあり、興味・関心や期待感が高まった。 事後学習の結果、オリンピックに対しての意識の違い（当事者目線）やトップアスリートの考え方を学ぶことで、自分自身の生活や今後の人生について考えることができた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	全学年の講演会終了後、別室で部活対象の座談会を開催したことで、精神面や技術面での具体的な交流を行うことができた。
8 主な課題等	時期的な問題（暖かい時期の方が望ましい）
9 来年度以降の実践予定	オリンピックやパラリンピックの意義については体育理論の授業でもしています。講師の方の経験談やオリンピックに向けての思い・とりくみ等の具体的な話をしてくだされれば、より効果的な学習ができると感じました。 (一部の生徒は、オリンピックに出場する人は才能に恵まれ、雲の上の話だと思っており、その途中の努力や過程を自分にも生かせると考えていないため。)